

領域・小問ごとの分析	対策の視点
<p>2. 直方体の体積</p> <p>正答率は44%と低い。問題の中で与えられている長さの単位が、異なっていることに気づかない誤りが多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 問題文をよく読み題意を正しくとらえるようにしたい。特に単位などには注意を払わせたい。
<p>3. 比例関係</p> <p>(1)の正答率は56%、(2)の正答率は49%である。(1)(2)とも単位量あたりの考えを使って解いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 比例関係を用いて能率よく解かせる指導が望ましい。
<p>領域②（量と測定）について</p> <p>単位の換算の正答率は30%台で低い。メートル法の特徴として、十進法の仕組みによって補助単位が決められていること、基本的な量を基にして他の単位が導かれる仕組みを持っていることを表にまとめて指導することが望ましい。</p> <p>比例関係についての問題では、比例式を用いて能率よく解かせるようにしたい。</p>	
領域・小問ごとの分析	対策の視点
<p>③ 図形</p> <p>1. 線対称・点対称</p> <p>基本的な問題であるが完全正答を要求したためか、(1)の正答率は66%、(2)の正答率は53%と二問とも70%を割っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 線対称・点対称の指導では、実際に操作しながら、理解をはかることが望ましい。
<p>2. 正方形とひし形の相互関係</p> <p>正答率は46%と低い。平行四辺形と答えた児童が多い。これは、図形の包摂関係がよく理解されていないためと思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 図形の定義を理解させるとともに、類似点や相違点などの観点を決め、図形の性質を明確にする指導が大切である。
<p>3. 相似形の意味</p> <p>正答率は68%である。大きさが違って、形が同じという意味がよく理解されていない、三角形と四角形の相似が混同している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三角形と四角形の相似形の違いを明確にする。